

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岡山県鏡野町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
13,211	5,062	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

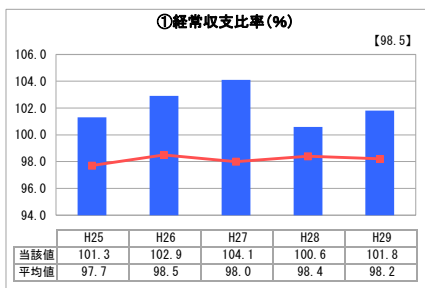
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
48	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	88
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
43	38	81

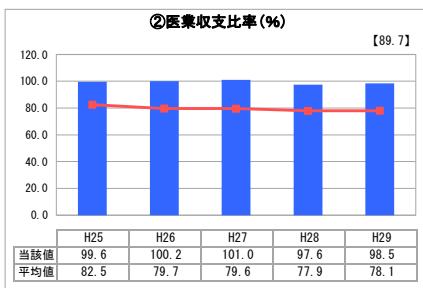
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

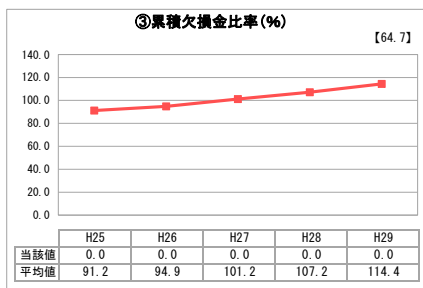
## 1. 経営の健全性・効率性



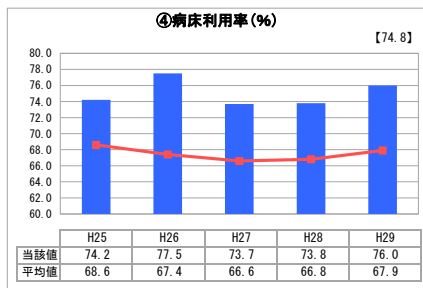
「経常損益」



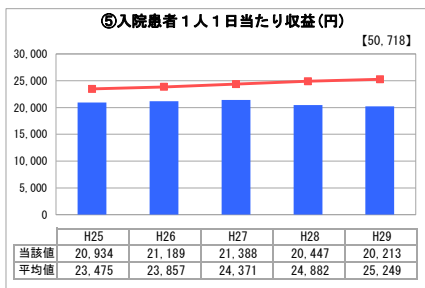
「医業損益」



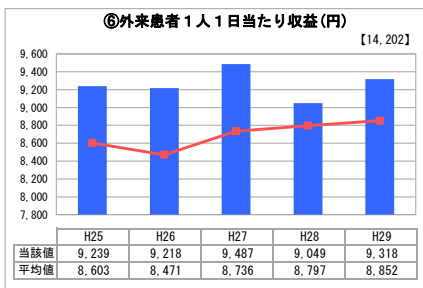
「累積欠損」



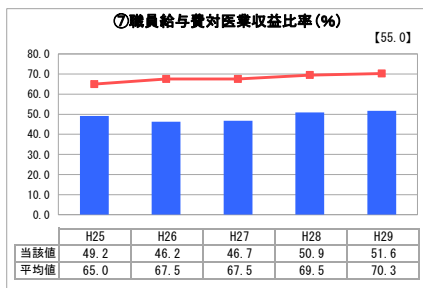
「施設の効率性」



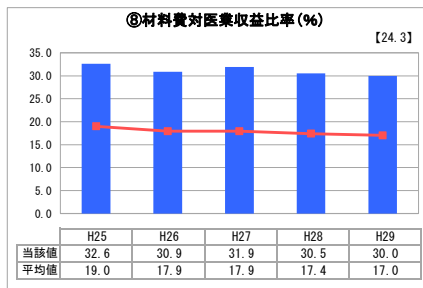
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

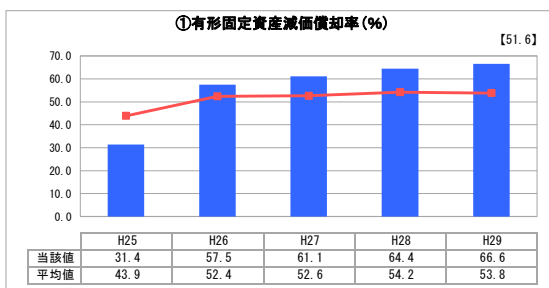


「費用の効率性①」

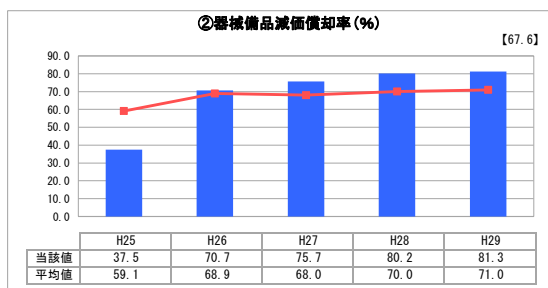


「費用の効率性②」

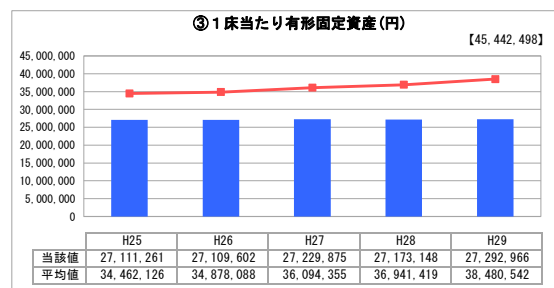
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

へき地拠点病院として、3か所の診療所にそれぞれ2～3日当院の医師を派遣し、へき地での医療の安定供給を図っている。また、2次救急病院として、夜間・休日問わず救急患者の受け入れをしている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率を上げるために、効率のいいベッドコントロールをした。これにより入院収入は昨年より増加した。また、外来においても、積極的に救急の受け入れをしたことにより、外来収入の増加は勿論、入院収入の増加ともなった。29年度には新公立病院改革プランを進めるために、コンサルティング会社に助言をもらい、一般病棟の一部地域包括ケア病床への転換、療養病棟の今後の在り方を検討してきた。病床転換については次年度への持ち越しとなっている。

### 2. 老朽化の状況について

平成元年に建設した南棟は、一度も大規模改修が行われていないため、空調設備や水道設備が老朽化している。そのため、頻りに管の破裂や漏水が起きており、その修理費を含め、全体で年間300万程度の修繕料となっている。その他医療機器においても、高額医療機器の耐用年数がかなり経過しており、更新か修理か難しい判断となっている。

### 全体総括

昨今の医師不足により、非常に厳しい外来診療であるが、へき地拠点病院として、地域の医療を担う役割を果たしている。今年度は地域医療構想に基づき、一般療養の一部地域包括ケア病床への転換のため、施設基準を見直し、整備を進めてきた。今年度は残念ながら転換は叶わなかったが、来年度以降継続して進めていく。また、療養病棟では今後の国の動向を注視しながら、当院にとって一番理想的な方向に進めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。